

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2024.01.No317

1月号

目次

新しい年に期す	1
全国大会報告	2
地域貢献活動センター助成事業の報告	4
女性建築士の集い	5
道士会の動き	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>



新しい年に期す

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽 世

新年 明けましておめでとうございます。皆様には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスは感染症法の5類に変更となり、基本的な対応は個人の判断となりました。そのためか、最近では、そのシンボルであったマスクの着用の機会も随分と少なくなった感があります。とは言えインフルエンザと共にコロナの第9波も取りざたされており、なかなかゼロコロナとはいえないようです。一方、コロナ禍やウクライナ紛争に加え、数十年ぶりの円安による原材料の高騰は、建設業界に大きな影響を与え、私たちのワークスタイルも分散型そしてデジタル化など大きく変容してきております。昨年は、まだまだコロナの心配をしながらではありましたが、お陰さまで多くの会員の皆様の参加のもと、全道大会北空知大会を開催することができました。あらためまして、皆様に感謝申し上げます。

ほんの少し前までは、高齢化社会の到来による雇用、年金等々の課題について時代の事象として理解し、捉えるのみであったと思います。しかしながら、今や現実のものとなった人口減少は地域を直撃し、地域の核とも言える小中高校の統廃合や店舗の閉鎖、さらには、働き方改革とも相まって、建設、運輸、医療など様々な分野において人手不足を招いており、私たち生活者としての価値観や生き方はもとより、地域の防災力をも損なわれてくるのが危惧されるところであります。本会では、「心豊かに暮らせる地域の持続」を大きな柱のひとつとして全道大会を展開しており、今年は、9月28日、日高支部を主管として「馬産地 日高路で語る我々の未来」をテーマに日高大会を開催いたします。是非とも多くの皆様に足を運んでいただきますようお願いいたします。

2021年、建築分野の木材利用のさらなる促進を指し、公共建築物等木材利用促進法が改正され、一

昨年は、エネルギー消費の約3割を占める建築分野での省エネ対策として建築物省エネ法の改正、そして建築基準法の改正がありました。それら建築基準法、建築物省エネ法の改正は、2025年には全面施行となり万全な備えが求められております。

振り返ってみますと、1981年新耐震基準に基づく建築基準法の改正の時には、多くの構造設計者が第一線から退くのを見てきました。また、2005年の構造計算書偽装に伴う建築基準法改正では、確認申請が滞り官製不況といわれる事態になったのはまだ記憶に新しいところです。その頃と比べると建築士の高齢化は着実に進んでおり、受験要件などの建築士法の改正も期待したほど建築士の増加には繋がっておりません。

加えて、インボイス制度の導入もボディブローのように効いており個人経営の設計者の減少が心配されております。そのような状況下ではありますが、今般の法改正は2050年カーボンニュートラルの実現に向け、避けて通れないものであります。まずは改正内容について、申請する側、審査する側ともにそれぞれの体制が整うよう周知期間をしっかりと確保するほか、これらの法改正に伴う設計費、工事費などの負担増について、消費者（クライアント）側へのPRが不可欠であると考えております。

国交省では、全国規模で改正法について制度説明会、設計等実務者講習会の開催、そしてそれらの動画配信を予定しております。本会におきましても、北海道のご協力のもと、毎年実施している建築基準法講習会を今月から札幌を皮切りに全道各地で開催いたします。会員の皆様には、社会が求めている新しい建築物の実現に向けしっかりと学び、その負託に応えることを期待いたします。

本年も、皆様のご理解、ご支援を引き続きお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

建築士会全国大会(しずおか大会)

支部長 中原 茂 人 (苫小牧支部)



令和5年10月27日に開催された第65回建築士会全国大会「しずおか大会」に、苫小牧支部会員7名で参加してきました。静岡での開催は47年振りとのこと。新型コロナウイルスの影響により、本来は令和4年の開催予定でしたが、令和5年にずれ込むなど予定外のこともあったようですが、無事開催となったようです。

「歴史と文化の継承」をテーマに掲げた大会らしく、記念講演は、静岡大学名誉教授の小和田哲男氏が講師を務め、日本の城について建築技法や芸術の観点からの基調講演が行われました。また、推定復元された駿府城、西尾城などを例に城ごとに異なる天守閣の作りや建物の配置などの解説もされました。続くパネルディスカッションは、小和田教授、広島大学名誉教授の三浦正幸氏、日本城郭協会理事の加藤理文氏のお三方により行われ、城郭遺産の保存と活用に関しディスカッションが行われました。



大会会場「グランシップ」

大会式典は、地元静岡県御殿場市に所在する、「富岳太鼓」の打ち込みによるオープニングから始まりました。因みに富岳とは富士山の別名だそうです。又、この式典にて、(公社)日本建築士会連合会会長表彰を、苫小牧支部会員であり北海道建築士会副会長の佐藤芳則氏が受けました。誠にありがとうございます。夕方18時から、会場をホテルグランヒルズ静岡に移し、大交流会が行われました。北海道建築士会からも多くの会員が参加され、道内の会員や道外の会員と積極的な交流を行っていました。また、地元パフォーマーによる芸も行われ、参加者を沸かせておりました。大交流会終了後は、支部会員と共に、静岡市の夜の町探訪に繰り出し、おいしい食事とお酒を堪能させていただきました。

翌日28日は、支部会員6名と共に、大会エクスカッションに参加してきました。私達が参加した「駿河国 国宝と世界文化遺産探訪」はとても人気があったらしく、総勢80名が参加し、駿府城公園バス駐車場から大型バス2台に分乗しての出発となりました。まず始めに向かったのは日本平です。駿河湾に面した標高307mの丘陵地ですが、静岡市内から車で約30分と近く、また、国の名勝にも指定されているためか人気の観光地のようです。日本平到着後、まず向かったのが、国宝「久能山東照宮」です。日本平山頂からロープウェイで下っていくのですが、この日は観光客で長蛇の列、そのため搭乗まで1時間近く掛かり、搭乗時間は5分でした。「久能山東照宮」は徳川家康公を祀る霊廟として1617年に創建されています。そのため、あちこちに葵の御紋が見受けられ、日光東照宮と同じく権現造りの本殿は極彩色に彩られておりました。ロープウェイ乗り場からすぐ近くに日本平夢テラスがあります。建築家、隈研吾氏が設計した展望施設です。鉄骨造3階建ての建築物ですが、最近の隈氏設計の建物と同じく、外壁や小屋組の架構に木材がふんだんに使用されていました。360度パノラマビューの3階展望フロアからの景色は素晴らしく、眼下に清水港、伊豆半島が見えました。快晴であれば駿河湾越しに富士山が仰ぎ見えるのですが、この日は残念ながら拝むことは出来ませんでした。その後、昼食会場である日本平ホテルへと向かいました。日建設計によるこのホテルは、恵まれた立地と建築物の質が高い次元でバランスがとれており、またディテールにも気が配られた素晴らしいホテルでした。勿論、ランチも美味でした。その後は美保の松原を見学し、静岡市内へ戻り解散となりました。



同じバスの参加者で記念撮影

第65回建築士会全国大会「しずおか大会」報告

自然と文化と歴史の息づく「しずおか」にて

常議員 池田 浩 司（釧路支部）



去る10月27日、第65回建築士会全国大会「しずおか大会」が全国各地から参加数約3000人を迎えて開催されました。北海道建築士会からは93名の参加者でした。

今大会のテーマは「歴史と文化の継承」～ローカルに生きる～と題して開催されました。大会会場である静岡県コンベンションセンターは外観が船をイメージしており、形にちなんだ「グランシップ」という愛称がつけられ、地下2階・地上12階建てで延べ床面積が約60,000㎡にも



大会会場「グランシップ」

及ぶ巨大な建造物であり、設計者は磯崎新氏による、まさしく建築士会全国大会にふさわしい建物でした。



出世大名 家康くん、
出世法師 直虎ちゃん

総合受付ではご当地キャラである出世大名家康くん、出世法師直虎ちゃん等が迎えに出てくれました。

午前中は各部会、委員会による10のセッションが開催され、私は「街中（空き家）まちづくりセッション」に参加してきました。

このセッションでは3事例が紹介され、一つ目は全国まちづくり会議で取り上げられた東京・谷中の「古民家を活用・発信し、人の集まるまちづくり活動」と題し、街を一つの最小文化複合施設（HOTEL）ととらえ、各空き家をギャラリーや喫茶店、お土産屋、レストラン、宿泊施設そして受付施設等に個々の建物を複合的に利用できる仕組みをつくり、空き家の対応を行っていた事例紹介、二つ目は、地方での空き家対応について、開催地静岡県からの「熱海のまちなかの空き家物件とエリア再生」と題し、エリア再生のため会社を設立し、一つ一つ空き店舗や空き家を借り、そこに投資を行い、3つのゲストハウス、コワーキングスペース、宿泊施設、シェア店舗等事業展開を行い、結果として2011年まで3分の1が空き店舗であったが現在では空き店舗0となり、商店街での新たな雇用者数も増え、エリア人口も増加、地価も上昇した事例が紹介されました。三つ目として、長野県からの「中山間地の空き家問題

解決とまちづくり」と題し、歴史的建造物の保全活動や積極的な利用、そして空き家の実態と本質を知ることの大切さが紹介されていました。



街中（空き家）まちづくりセッション会場

これらの事例は、私の出身地である釧路支部においても大いに参考となる事例であり、全国大会参加の有意義性が感じられました。

午後からは、NHK大河ドラマの時代考証を務める小和田哲男氏による「城づくりの歴史と文化」と題し基調講演が行われ、後半では同じくNHK大河ドラマの建築考証を務める三浦正幸氏を交え「城郭遺産等の保存と活用」と題し、パネルディスカッションが行われました。特に感じたことはRC造の城郭が木造より寿命が短く、また中には城のなかったところに城が建ったり、本来の姿とは別の姿の城が建てられたりしていることがあるとのことでした。

大会式典は「富岳太鼓」の歓迎ではじまり、連合会会長表彰として北海道建築士会から5名が表彰され、建築作品賞としては北海道建築士会 本井和彦氏による作品「北海道地区FMセンター」が優秀賞を受賞されました。式典最後には次期開催地である鹿児島建築士会のピーアールが行われました。



式典：次期開催地 鹿児島建築士会ピーアール風景

大交流会はホテルグランヒルズ静岡で行われ、地元静岡の美味しい食事と地酒が出迎えてくれました。この交流会は北海道建築士会の仲間の交流はもとより、全国の建築士会との交流ができることも楽しみであります。

次の日28日は、帰路である飛行機の時間の関係で残念ながらエクスカーショには参加が出来ず、レンタカーにて富士山世界文化遺産構成資産登録である三保松原を訪ね、静岡の自然と文化と歴史の一部を堪能してまいりました。

十 勝 建 築 展

岡 田 英 樹（十勝支部）



帯広市内にある旧双葉幼稚園園舎は、八角形の柱のないドーム型の屋根を持った独創的な建築物です。1922（大正11）年に現在の場所に新築移転しました。2013年に閉園するまでに多くの園児を送り出してきました、私もこの幼稚園の卒園生の一人です。2017年に国の重要文化財の指定を受け、現在は週末の公開やコンサートなどで来場があります。また、十勝を舞台にしたNHK連続テレビ小説「なつぞら」の主題歌を歌ったミュージシャンのスピッツがPVを作成したことで、全国より聖地見学に多くの来場があります、最近では外国人のツアーコースの一部にもなりつつあります。



市内にある旧双葉幼稚園園舎

この歴史的建造物の維持管理・保全・修理には、NPO法人「双葉の露」が携わっていますが、入園料とイベント収益だけでは運営が難しい状況です。その保存の手助けが出来ればと、今回建築士会十勝支部が共催して「十勝建築展」を開催しました。



建築作品のパネル展示

地域貢献活動センター委員会（鈴木徹委員長）のテーマの一つである、歴史資産の保全・再生・活用に沿って、助成金を活用させていただきました。

9月17日から24日の8日間の開催で170名の来場がありました。同時開催した、十勝支部（帯広分会）が長年行ってきた十勝の古建築を調査した「古建築調査」の展示も市民に建築士会の活動をアピールできたと思います。



古建築調査の展示コーナー

建築展の開催にあたり、建築士会十勝支部の会員や建築士事務所協会の会員にも作品の募集を行い、遠くは札幌のデザイン事務所からも応募がありました。

NPO法人双葉の露には、私を含め建築士会会員も数名おり、打合せや準備は比較的容易に進められました。また展示用パネルを製作し、今後の展示用として残すことが出来ました。

今後、この建築展を継続した事業としても検討していきたいと思います。今回個人参加を主体に行いましたが、今後企業参加などで出店数も増やし、一般市民への建築作品のアピールと建築士会活動、旧双葉幼稚園園舎の来場の増加など、歴史的な重要文化財の保全に貢献していきたいです。



ドーム天井のホールにて展示

「女性建築士の集い in 小樽2023」の報告

女性委員 中 田 富知子（旭川支部）

私たち女性委員会は毎年、女性建築士の研鑽と交流を目的として「女性建築士の集い」を開催しております。今年は、9月30日（土）小樽市で3か所の歴史的建築物を見学しました。参加人数は30名。コロナ禍があけて久々に多くの人が集まり嬉しかったです。まず、小樽市観光物産プラザ（運河プラザ）の多目的ギャラリーで「旧越中谷ホテル」を改修して「UNWIND HOTEL & BER 小樽」になったホテルをコンサルティングしました合同会社石塚和彦 アトリエー級建築士事務所 石塚和彦氏の改修の経緯などのお話を聞き、北海製罐第3倉庫に移動して、うんがぶらす株式会社 取締役プロデューサー 白鳥陽子氏から「北運河界隈の今」のテーマで運河界隈でのお店やイベント等の話を聞き、また移動しまして「UNWIND HOTEL & BER 小樽」の中にあります「The Ball 小樽」でランチをいただき、ホテルの中を見学させていただきました。その後は、全建女が作成しました「魅力ある和の空間ガイドブック」に掲載されています、現在は「CaféWhite」として営業しています「（旧）岡川薬局」の見学とN合同会社 代表社員・株式会社 福島工務店 代表取締役 福島慶介氏のお話を聞きました。



旧越中谷ホテルの外観

石塚氏は、裏話を含めながら経緯や改修の様子などを詳しく説明していただきました。耐震補強工事に苦勞され、ほとんどスケルトンの状態にしてからコンクリートで補強して内装をもとに戻した話など興味深い話をたくさんしていただきました。さらに、ホテルの見学にも同行してくださり、色々な質問にもお答えいただき感謝申し上げます。

ホテルの客室などを見学して泊まりたいなと思い

ました。個人的には1階のトイレが素敵でした。同行しました息子は階段の手すりに使われていたキラキラした石に興味がありましたが、階段は建設当時のままのため、石の種類は何かわからないそうです。



旧越中谷ホテルの階段

「（旧）岡川薬局」では見学希望者が多くて2回に分けて説明してくださいました。いろいろな役職を持ち、小樽の再生・発展に尽力しています福島氏はとても話し上手で面白く、「凄い人」と思いました。宿泊者が居たため2階は見学できなかったのが心残りでした。



旧岡川薬局にて

古い建物を再生して利用し続けることはコスト的にも難しいことですが、私たち建築士が率先してやらなければならないことを実感した見学会でした。また来年も「女性建築士の集い」を開催しますので、女性建築士の皆さんの多数の参加をお待ちしております。

北海道建築士会年間行事予定（予定）

3月	6日	第1回理事会	8月	予定	二級建築士学科試験合格者発表
	19日	定時総会		30日	第4回理事会
	19日	第2回理事会	9月	予定	一級・木造建築士学科試験合格者発表
	30日	全道青年委員会連絡会議		予定	二級建築士設計製図試験
5月	17日	第3回理事会	10月	予定	一級建築士設計製図試験
	予定	青年建築士の集い		28日	全道大会（日高大会）
6月	21日	支部長・事務局長合同会議	11月	25日	全国大会（鹿児島大会）
7月	予定	二級建築士学科試験	12月	6日	第5回理事会
	予定	一級・木造建築士学科試験		予定	建築士試験設計製図合格者発表

建築士試験「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率		実受験者	合格者	合格率
二級建築士	330人	150人	45.45%	木造建築士	2人	0人	0.00%

約款価格改定のお知らせ（令和5年10月1日より）



工事請負契約約款
契約書関係書式
.....
(会員価格・一般価格)
1,000円（税抜）



マンション修繕工事
請負契約約款
契約書関係書式
.....
(会員価格) 900円（税抜）
(一般価格) 1,000円（税抜）



リフォーム工事
請負契約書類
(書式・約款)
.....
(会員価格) 495円（税抜）
(一般価格) 550円（税抜）



小規模建築物・
設計施工一括用
工事請負等契約書類
(書式・約款)
.....
(会員価格) 765円（税抜）
(一般価格) 850円（税抜）

- 1) 北海道建築士会本部及び全道各支部事務局窓口にて現金で購入
 - 2) 北海道建築士会ホームページのオンラインショップまたはFAXにてお申込みにて購入
(申込用紙は北海道建築士会ホームページよりダウンロードできます。)
- *一般の書店では販売しておりません。

建築士専属、メッセンジャー。

北海道建築士会のPR・配布サービス

「道風便」は、当会発行の会員向け冊子に広告やチラシを同封して配布するサービスです。

冊子の読者は、全道各地の建築業界の方々。
北海道全域はもちろん、地方ごとの配布も
できるので、ピンポイントに情報をお届けできます。

しかも、冊子と同封なので送料もオトク！
各種広告、イベント情報の告知などに、
お気軽にご利用いただけます。

賛助会員は
更にオトク！

全道会員数
4000人!!
(2019年現在)

標準価格

A4判(6枚) 40円/部(税別)

※配布物を納入する際の、
当会までの配送料は料金に含まれません。



道風便

函館支部

開港5都市景観まちづくり会議2023函館大会

理事（まちづくり委員会）

末吉 勇介



安政5（1858）年の日米修好通商条約の締結により開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸、長崎の5都市の市民が、景観、歴史、文化、環境などを大切にまもり、育て、魅力あるまちづくりを行うため、相互に交流を深め、課題を協議し、各都市のまちづくりの推進を目的とした会議です。

2017年に函館景観まちづくり協議会（まちづくりに関する活動をしている市民団体や経済団体28団体で構成）が設立され、当支部も参画して2018年の第24回函館大会から実行委員会の一員として活動しています。

本年、9月9日から2023函館大会が開催され、当支部は函館湾岸価値創造プロジェクトと一緒に10日（日）第4分科会「建築・土木の専門家目線めぐる～歴史的な建造物活用事例ツアー～」を担当、各都市でまちづくり活動しているメンバーと街歩きをしました。

当支部の会員で古民家再生やりノベを手掛けている富樫雅行さんから、街角NEW CULTUREの空きビル活用事例の説明と見学でスタート、大三坂ビルディング～東本願寺函館別院～銀座通り～コルツ（昼食）～元町配水場～地域交流まちづくりセンターと巡り、歴史的建造物の利活用や保存する上での課題などについても語り合いました。

この3年間、コロナ禍により支部まちづくり委員会としての活動

が停滞していましたが、今年はこの大会一本にしぼり、一年前から実行委員会に参加して準備を重ねてきました。当日は、支部メンバー（私の他に、朝倉友和さん、小川聡さん、橋本雪乃さん、藤原麻美さんの計5名。）が運営役員として街歩きを引率、夕方からは函館西部地区バル街（毎回、大人気でチケット購入が難しいイベントです。）にも参加して交流を図ることができました。

今回の活動を通し、函館の街並みや歴史的建造物の魅力を改めて実感し、建築士として地域社会に少しでも貢献できるよう、仕事とまちづくり活動を頑張りたいと思いますので、来年の横浜大会にもぜひ参加したいと考えています。



元町配水場見学



街角NEW CULTURE 講話



開港5都市 全体会議 I

紋別支部

近況の活動報告

青年委員長

佐々木 誠



2023年5月から新型コロナウイルスによる制限がほぼ無くなり、全道大会や各支部での活動も従前の様に行えるようになったことから、紋別支部青年委員会では、11月25日（土）に「建築のお仕事体験in紋別」を開催しました。

4年ぶりの開催となった今回は、前回までのイベントの感覚を取り戻すため規模を一部縮小して実施しました。あいにくにも前日、当日ともに悪天候に見舞われてしまい、来場するのに厳しい状況となってしまいましたが、開始時間からたくさん子どもたちが集まってくれました。

イベント内容は「ブロックでまちなみをつくってみよう」、「おりがみでたてものをつくってみよう」、「ストローで構造をかんがえよう」の3種目と、午後には会場にいる子どもたちでグループを作

り、ワークショップの「紙で人を支えられるのか」を行いました。ワークショップでは2グループに分かれた子どもたちに画用紙を配付し、紙の折り方で自分たちが何人乗れるかに挑戦してもらいました。青年委員からルール説明を受けたのち、グループ内で各々意見を出し合い、時には相手グループにちょっかいをかけるなど、賑やかにディスカッションが進み、最後は両グループ6人ずつ乗ったところで仲良く同時に潰れ、楽しくワークショップを終えることができました。

全体的に短い開催時間でしたが、子どもたちと保護者の方々に楽しみながら建築に触れてもらい、イベントは大成功で幕を閉じることができました。また、建築士会の周知も図られたと思います。

今後の青年部活動目標は、まず、コロナ禍以前の活動状況に戻していくことです。新型コロナによる制限が無くなった今年は、活動を再開しようと集合を呼びかけまし

たが、長い活動停滞期間により、青年部の士気が下がっていたため、満足のいく活動が難しい状況でした。そんな中でも、根気強く打合せを重ね、新規会員の入会もあり、今回のお仕事体験イベント開催を達成することができました。これを「きっかけ」とし、今まで行ってきた事業の再開及びバージョンアップ。更には、新規事業の計画立案に向け、青年部の活性化を図り、紋別支部全体を盛り上げていく思いでいます。皆さんご指導ご協力お願いいたします！



グループワークのディスカッション風景

道士会の動き

本部の主な会議報告（12月）

- ◆第4回総務・企画委員会
（開催日）1日（金）
1）令和5年第4回理事会議案
2）その他
- ◆第3回情報委員会（web併用）
（開催日）2日（土）
1）令和5年事業報告及び令和6年事業計画・予算
2）会誌「北海道建築士」について
3）その他
- ◆四役会議
（開催日）7日（木）
1）令和5年第4回理事会議案
2）その他
- ◆第9回BIM推進特別委員会
（開催日）12日（火）
1）今年の振り返り
2）来年の活動計画について
3）来年の体制について
- ◆正副会長会議
（開催日）15日（金）
1）令和5年第4回理事会議案
2）その他
- ◆第4回理事会
（開催日）15日（金）
1）令和5年一般会計予算の取崩（案）
2）令和5年一般会計予算の流用（案）
3）令和5年一般会計事業報告（10月末）及び収支決算見込
4）令和5年特別会計事業報告（10月末）及び収支決算見込
5）第45回全道大会（北空知大会）事業報告及び収支決算（案）
6）支部財政調整積立資産の取り崩（案）
7）令和6年一般会計事業計画及び収支予算（案）
8）令和6年特別会計事業計画及び収支予算（案）
9）第46回全道大会（日高大会）事業計画及び収支予算（案）
10）第47回全道大会の開催（案）
11）「一般社団法人北海道建築士会 会計処理規則」の改正（案）
12）「一般社団法人北海道建築士会 電子取引データの訂正および削除の防止に関する事務処理規則」（案）の新設
13）「一般社団法人北海道建築士会 電子帳簿保存法に係るスキャナによる電子化保存規則」（案）の新設
14）「一般社団法人北海道建築士会 支部会計システム運用規則」の改正（案）
15）令和6年定時総会の開催（案）
定款第6条に基づく会員の入会承認（案）

本部の主な行事予定（1月）

- ◆青年委員会
（開催日）13日（土）

関係機関等会議参加予定（1月）

- 11日（木） 日本建築士会連合会理事会（東京）
- 24日（水） 北海道赤レンガ建築賞表彰式
上記 高野会長

講習会・セミナーのご案内（1月）

監理技術者講習

17日（水） 札幌市

応急危険度判定士認定講習会

19日（金） 函館市 23日（火） 釧路市

基準法講習会

11日（木） 札幌市 26日（金） 新ひだか町
29日（月） 滝川市 31日（水） 名寄市

CPD認定プログラム（12月認定）

◆令和5年度現場代理人等合同研修会（オンライン）

《日程及び会場》 1月18日（木）・25日（木）
10：00～16：00 オンライン

《単位数》 5単位

《問合せ先》

（一社）札幌建設業協会 TEL 011-261-6182

◆令和5年度建築・住宅セミナー

《日程及び会場》 1月25日（木）
13：30～15：30

《単位数》 2単位

《問合せ先》

（一財）北海道建築指導センター TEL 011-241-1893

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



- 視聴方法：北海道建築士会 HP の上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 1月パスワード：Enw039

編集後記

今月、50歳を迎える。何気なく「1974年__建築」と検索すると『ススキノラフィラ』に辿り着いた。既に解体され、先ごろ、ココノススキノとしてグランドオープンし、賑わっている。建物はリニューアルできるが、人はそうはいかない。企業には、70歳まで就業機会を確保する努力義務が課されているが、働き続けられる心技体を持続することは容易ではない。酒は百薬の長、されど万病の元。適量を模索しながら健康管理に努めたいもの。 情報委員会 前委員長 森 勝利（日高支部）

情報委員会委員長／前田 繁
副委員長／村山 賢司・立花智亜喜
委員／岩浪 治郎・角張 隆昌
津山 浩・奈良岡 修

北海道建築士 No.317号

印刷 令和5年12月／発行 令和6年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番